

北海道総合保健医療協議会地域保健専門委員会糖尿病対策小委員会
慢性腎臓病対策連絡会議【書面開催】

1 今年度(臨時)委員について…資料1

今年度の委員については、資料1のとおりです。新たに、前任の妹背牛町渡邊氏に代わり、当別町福祉部保健福祉課健康推進係 土井主査(管理栄養士)に、就任いただいております。

2 協議事項

* 下記項目について、別紙「意見集約票」に御意見等を賜りますようお願い申し上げます。

(1) 令和2年度啓発事業について(世界腎臓デー啓発パネル展)

例年、世界腎臓デー(3月第二木曜日)にあわせ、札幌地下歩行空間にて開催しておりますが、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、事務局では開催は難しいと考えております。開催の可否についてお諮りいたします。

また、委員の皆さまより、御意見や代替案等ありましたらよろしく願います。

3 報告事項

(1) 令和2年度啓発事業について(CKD 市民講演会)

年度当初、別海町での開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため管轄保健所及び町とも協議のうえ、中止とさせていただきます。

(2) 北海道における透析患者の状況について…資料2-1、2-2

- ・2018年の透析導入及び透析年末患者数は、いずれも微増し、患者の平均年齢も上がっています。
- ・「透析医療の現況調査」では、2019年12月1日現在で透析患者数は16,535人で、そのうち糖尿病性腎症の患者は、6,471人(全体の39%)でした。

(3) 糖尿病重症化予防(慢性腎臓病)対策実施状況について…資料3-1、3-2

- ・今年度も各関係機関・団体において、普及啓発等の取組が予定されておりましたが、多くが新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となっております。

(4) 道内市町村国保における糖尿病性腎症重症化予防プログラムの推進状況について

(国保医療課調査)…資料4-1、4-2、4-3

- ・「市町村における高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の観点より、後期高齢者に対する糖尿病性腎症重症化予防対策の取組状況についてもとりまとめております。
- ・事業実施に当たり市町村で困っていることとしては、医療機関によって事業理解や取り組み意欲に差があり、連携体制構築に困難さがあることや、コロナ禍においてより医療機関との連携が難しくなっているとの回答がありました。

(5) 糖尿病性腎症重症化予防対策アドバイザー派遣事業…資料5

今年度、保険者努力支援制度の抜本的強化により、北海道も市町村における保健事業を支援するため、国保ヘルスアップ事業が拡充されました。

その取組の一部として、国保医療課と連携し「糖尿病性腎症重症化予防対策アドバイザー派遣事業」(今年度、旭川医科大学 内科学講座循環・呼吸・神経病態内科学分野中川講師をアドバイザーとして委嘱)を二次医療圏対象に実施することとなり、令和3年1月に深川保健所(医療保健関係者向け講演会)、2月に渡島保健所(保健師・栄養士の会議の場を活用した意見交換会)にて、活動を予定しております。